

予算質疑

ここが聞きたい!!

今年ほど「みんなの予算」



雪害にあった天狗山荘。早期の復旧が望まれている。

年間対応年数は15年でリース化した方が970万ほど安くなる試算。また、第二庁舎化している事実はある。しかし管理については当初の利用目的や起債の関係上、健康福祉課の管理下にあるのでご理解いただきたい。予算仕訳科目については今後検討していく。

**質疑** 生活支援体制整備等補助事業については。

**回答** 住民同士の支え合いや見守りなど、生活支援サービスや住民主体の通いの場等の活動を行う2名以上の団体に、活動費として

支援して20万円を予算化。食事会などの開催を提案。今後、地域へ団体を設立支援し、生活支援コーディネーターと共に地域からの相談に対応。

山小屋の改修にかかる費用は

観光課

**質疑** 天狗山荘と八方池山荘の改修については。

**回答** 天狗山荘には、昨年の雪害による復旧工事に1億円余り。財源は損害保険料5210万円、ふるさと白馬を応援する基金より1200万円、村債3720万円、一般財源を141万見込んでいます。

**意見** 八方尾根保全協会の負担金を利用していたが、その補助も無くなってしまった。事業内容が充実して事業結果の評価も高いのでの継続してほしい。

**回答** 当初予算からは外してあるが、今後八方区とも検討。観光局への負担金算定方式は。

**質疑** は。



八方尾根の植生回復作業の様子。地元民による地道な活動が成果を上げている。

都市計画調査の必要性は

建設課

**意見** 都市計画調査の見直しは5年に1回行っているが、その必要性はあるか。

**回答** 今後、高規格道路の村内ルートへの対応など、その機運は高まってきている。1年遅れだがこの事業に取り組み必要がある。

**回答** 今年度より算定方式を村全体のALPS花三昧等観光事業や自転車関連、公式パンフレットの作成など、事業費ベースに変更した。

**意見** サイクルツーリズムの周知をはかるべきでは。

**回答** 安曇野センチュリーライドなどは4000人強が参加。村民からの「おもてなし」が必要なことから、啓蒙や大会の広報に努めていきたい。